



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月13日

上場会社名 ノイルイミュン・バイオテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4893 URL <https://www.noile-immune.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 耕治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 永井 寛子 TEL 03 (5843) 7819
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	314	—	△495	—	△848	—	△850	—
2022年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△20.81	—
2022年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2022年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第3四半期の数値および2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2023年12月期第3四半期潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	6,168	5,967	96.6
2022年12月期	4,641	4,300	92.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 5,960百万円 2022年12月期 4,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	319	△49.0	△1,535	—	△1,832	—	△1,834	—	△44.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年12月期3Q	43,276,765株	2022年12月期	39,579,865株
2023年12月期3Q	－株	2022年12月期	－株
2023年12月期3Q	40,858,752株	2022年12月期3Q	－株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「がんを克服できる未来の創生に貢献する」という経営理念の下、当社の独自技術であるPRIME (Proliferation-inducing and migration enhancing) 技術を用いた固形がんに対するCAR-TやTCR-Tなどの遺伝子改変免疫細胞療法の研究開発に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間における当社事業の概況としまして、PRIME技術を基盤とした自社創薬及び共同パイプラインをこれまでに引き続き推進いたしました。

自社創薬におきましては、当社パイプラインNIB101について第I相臨床試験を実施しており、対象被験者の組み入れを進めております。一方、創製したNIB102およびNIB103については、導出先である武田薬品工業株式会社により研究開発が進められ、いずれも第I相臨床試験が進行しております。この他当社は自社パイプラインのさらなる拡充を図るべく、引き続き研究開発を進めております。

共同パイプラインにおきまして、当社がPRIME技術をライセンスしているAdaptimmune Therapeutics plc、Autolus Therapeutics plc及び中外製薬株式会社による研究開発が進行しております。なお、中外製薬株式会社とのライセンス契約においては、契約に定めるテックトランスファーを完了し、マイルストーンフィーを受領いたしました。また、技術評価に関する契約を締結している第一三共株式会社において評価研究を実施中です。

なお、2023年4月24日、当社はリバーセル株式会社と共同研究および事業化を目指す提携を行ったことを発表しました。リバーセルの有するiPS細胞等の多能性幹細胞から免疫細胞を作製する技術と当社の技術を組合せ、次世代型の他家遺伝子改変免疫細胞療法に関する共同研究を開始しております。

当第3四半期累計期間における事業収益は314,144千円を計上した一方で開発の継続により、営業損失は495,857千円となりました。さらに、グローバルオフリングによる東京証券取引所グロース市場上場(2023年6月28日付)に伴う弁護士報酬等を営業外費用として上場関連費用を343,444千円計上したこと等により経常損失は848,611千円、四半期純損失は850,433千円となりました。

なお、当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は6,168,786千円となり、前事業年度末に比べ1,527,753千円増加しました。これは主に、現金及び預金が1,135,016千円、未収消費税等が50,548千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は201,752千円となり、前事業年度末に比べ138,661千円減少しました。これは主に、未払費用が6,436千円、未払法人税等が704千円増加した一方で、未払金が102,392千円、預り金が40,808千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は5,967,033千円となり、前事業年度末に比べ1,666,415千円増加しました。これは主に、上場に伴う有償一般募集増資による新株の発行等により資本金が1,258,424千円増加、資本剰余金が1,258,424千円増加した一方で、四半期純損失の計上により利益剰余金が850,433千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年6月28日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

当社は、PRIME技術を基盤として自社創薬事業及び共同パイプラインを推進しております。このような事業において、既存のパートナーとのプロジェクトの進捗によるマイルストーン収入および新たなパートナーとの提携によるアップフロント収入はパートナーの状況および新たなパートナーとの交渉状況により大きく変動します。

したがって、現時点では業績に与える未確定な要素が多いことから、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、NIB101につきましては、これまでに、治験製品の製造委託先に対して実施した監査を通じ、指摘した事項の製造委託先における解決に時間を要したこと等の要因により、当該試験の進捗に大幅な遅れが生じていることから、今期の開発費用は期初予定を下回っております。現在、製造委託先に対する継続的な監視を行うとともに製造プロセスやオペレーションの効率化を進めており、またバックアップとなる製造所の検討を進める等の取り組みも併せて行うことでNIB101開発進捗の加速化を目指しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,520,997	5,656,014
売掛金	—	330,000
貯蔵品	3,926	22,586
前渡金	26,943	28,969
前払費用	27,015	14,735
未収消費税等	—	50,548
その他	5,301	3,477
流動資産合計	4,584,184	6,106,330
固定資産		
投資その他の資産		
長期前払費用	3,007	3,297
長期預け金	35,034	35,034
差入保証金	18,806	24,123
投資その他の資産合計	56,848	62,455
固定資産合計	56,848	62,455
資産合計	4,641,032	6,168,786
負債の部		
流動負債		
未払金	217,815	115,422
未払費用	45,939	52,376
未払法人税等	18,309	19,013
契約負債	4,846	5,787
預り金	44,728	3,919
その他	3,542	—
流動負債合計	335,181	196,519
固定負債		
資産除去債務	5,233	5,233
固定負債合計	5,233	5,233
負債合計	340,414	201,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,787,552	4,045,977
資本剰余金	2,765,396	4,023,821
利益剰余金	△1,259,232	△2,109,666
株主資本合計	4,293,716	5,960,132
新株予約権	6,901	6,901
純資産合計	4,300,617	5,967,033
負債純資産合計	4,641,032	6,168,786

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
事業収益	314,144
事業費用	
事業原価	2,093
研究開発費	496,014
その他の販売費及び一般管理費	311,894
事業費用合計	810,001
営業損失(△)	△495,857
営業外収益	
受取利息	44
その他	0
営業外収益合計	44
営業外費用	
為替差損	545
上場関連費用	343,444
株式交付費	8,808
営業外費用合計	352,798
経常損失(△)	△848,611
税引前四半期純損失(△)	△848,611
法人税、住民税及び事業税	1,821
法人税等合計	1,821
四半期純損失(△)	△850,433

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月28日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。株式上場にあたり、2023年6月27日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式3,623,000株（発行価格740円、引受価額680.80円、資本金組入額340.40円）の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,233,269千円増加しております。また、当第3四半期累計期間において2023年7月26日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ25,155千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が4,045,977千円、資本剰余金が4,023,821千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間（自2023年1月1日 至2023年9月30日）

当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであり、セグメント情報の記載を省略しております。